

第 778 回 例 会

30年9月21日

本日のプログラム

- ・夜例会
- 時間 18:30 ~
- 場所 中之島ラブセントラル レストラン sumile
(大阪市北区西天満2-1-18)

次回(9月28日)のプログラム

- ・ソング 「われら日本ロータリアンの歌」
- ・卓話 花谷 尚嗣 会員
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 3階「飛鳥の間」

先週(9月7日)の例会報告

■会長の時間

【100周年を祝う鐘】

前回の例会日に使用した鐘は、日本のロータリーが100周年を迎えるのを記念して製作された鐘です。

日本で初めてロータリークラブが創立したのは、東京ロータリークラブの創立の年で1920年のことです。その創立100周年を2020年に迎えるにあたって100周年を祝う鐘が製作され、各クラブにおいて点鐘に使用するために、ガバナー訪問日に持ってきていただいたものです。鐘の重量は6.5kgあり、鐘の台座には、2660地区の全クラブ名が記載されています。前回の会報に写真を掲載していますのでご覧になってください。

東京ロータリークラブの創立総会は、1920年の10月20日に、会員24人で開催され、初代会長に米山梅吉氏、幹事に福島喜三次氏が選ばれました。

ところで国際ロータリーの100周年がいつだったのかと思ってみますと、2005年が100周年であって、この年に合わせて、国際ロータリー100周年記念の鐘が作製されています。この記念の鐘は、イリノイ州の国際ロータリー世界本部にあるとのことですので、機会がありましたらぜひその音色を聞いてみてください。

2020年は、日本のロータリーの100周年の年であるとともにオリンピックの年でもあり、さらには我がユニバーサルシティロータリークラブの20周年の年でもありますので、今後一層努力して、ロータリークラブの活性化を図りたいと思います。

【来客紹介】 1名

【出席報告】

30年9月7日(第777回例会)				
会員総数	出席免除会員	出席会員	欠席会員	出席率
34名	0名	22名	12名	64.71%

【幹事報告】

〔メールBOXに配布〕

- 1)ロータリーの友(9月号)
- 2)地区大会 詳細案内

〔メール送信〕

- 1)ガバナー月信(9月号) ⇒ 9/5 配信
- 2)夜例会(9/21)のご案内 ⇒ 9/5 配信
- 3)バザー参加と物品提供のお願い ⇒ 9/6 配信
- 4)ロータリーの友9月号 推奨記事と関連記事のご紹介 ⇒ 9/7 配信

ニコニコ箱(9月7日)

秋山 千尋 =本日は松山会員ご紹介の倉田先生の卓話、楽しみにしています。

福島 三雄 =本日は松山さんのご紹介で倉田先生にお話をして頂きます。倉田先生よろしくお願ひします。

花谷 尚嗣 =災害続きで心がイタみます。

松山 三雄 =卓話ががんばります。

森本 良嗣 =今度の台風21号、ハンパやなかったですね。かなり恐かったです、何とか無事に終ってホッとしています。
倉田純一先生、今日(新技術のバランスは誰が取る)楽しみにしていました。宜しくお願ひします。

大屋 準一 =皆様方、台風の影響はいかがでしたか? 前向きに頑張りましょう!!
倉田先生のお話を楽しみにしています。

斎藤 清貴 =台風21号に北海道地震、経済への影響も心配ですね。
倉田先生、卓話よろしくお願ひします。

高野 幸雄 =台風地震…何かおかしいですね！！

辻田 知史 =北海道は台風地震と連続の自然災害に見舞われ大変なことになっていますね。22日からの連休にゴルフ遠征に行く予定でしたが、どうも中止になりそうな状態です。一週間以上も停電が続くなんて考えただけでも恐ろしい。南海トラフ地震が来ないことを祈ります。今日はゲストスピーカー倉田様の卓話、楽しみにしています。

【SAA報告】

ニコニコ箱

本日計 9000円

今年度合計 4387875円

卓話(9月7日)

「新旧技術のバランスは誰がとる？」 ゲストスピーカー 倉田 純一 氏 (松山 三雄 会員 ご紹介)

2016年11月、東京デザインウィーク2016において、白熱電球を用いた照明器具が原因とみられる火災が発生し、木製展示物に閉じ込められた5歳の男児が焼死する痛ましい事故があった。その後、講義時間中に学生たちへの問いかけをしたところ、半数以上の学生が白熱電球を知らない、あるいは、触ったことがないという回答であった。開発当初のLED電球にみられた放熱板も、最近では外から見られないようなデザインになっているようである。その結果、「LED電球に対して、光は発するが熱は発生しないもの」という理解がさらに広がり、究極は、「照明器具に対して、光は発するが熱は発生しないもの」という理解が広がっていくのではないかと危惧する。照明器具としての旧技術である白熱電球への理解が、新技術であるLED電球への理解に置き換わってしまうことは、冒頭の事故の再発につながる危険性を孕んでいると思われる。

工学に関わっている人の中に、技術の進歩や新技術の創出などだけに興味を持つ人がいるようである。新技術や新デバイスはこれまでにない新商品を生み出し、生活様式まで大きく変える価値があるので、その魅力を否定することはないが、新技術や新デバイスが突然変異のように生まれてきたのではなく、これまでの旧技術の蓄積・改善によってもたらされたものであることを忘れてはいけないと考える。旧技術の格段の進歩が、これまでにない材料の開発、これまでにない表面処理、これまでにない機械加工などを生み、材料強度・加工精度・耐久性の飛躍的な改善がこれまでにない商品に繋がっている。

消費者は、商品の製造過程での技術変革を意識することなく、最終的に商品を消費するだけであり、商品に隠れた技術の恩恵については知る由もない。しかし、誰かがその隠れた技術の変革や改善の道筋を伝えなければ、出来上がった商品の伝承だけでは、その商品の製造をいつまで続けられるかままたらない。学生の多くは、中小企業の技術力の高さを知らず、新商品を生み出す巨大企業や大企業だけが技術を有しているように思っている。「ものづくり大国ニッポン」を維持するため、旧技術がどれだけ洗練されてきたを知り、その結果、何ができるようになったかというような、旧技術に対する意識も高める必要がある。短絡的に「新商品＝新技術」ではなく、「新商品＝旧技術の蓄積」ということも意識できるような技術教育も必要であろう。

その技術教育を企業で行うのか、高等教育機関で行うのか、初等・中等教育機関、幼児教育機関で行うのか、あるいは家庭で行うのかを考えると、理科嫌が多いという女性に対する理科教育が重要であると考え。子供たちと長く接する家族が、日常生活の中での技術教育、特に、旧技術に関する教育を担うことで、新旧技術に対する意識を同時に高める必要があると考える。新旧技術のバランスを保つ姿勢として、「読み、書き、そろばん、サイエンス」が大切であると考え、諸氏の技術に対する想いを周囲にお伝えいただきたいと願う。

大阪ユニバーサルシティRC

URL: <http://www.osaka-ucrc.org/>

E-mai: ucrc@osaka-ucrc.org

創立: 2001年3月27日

事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル401号室 TEL: 070-5020-6459

会長: 斎藤清貴 幹事: 三宅一郎 会報担当: 大橋高志 例会: 毎週 月曜日 12:30~13:30 リーガロイヤルホテル

4つのテスト / 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか